

かんたん！ Studyaid D.B.



このページでは、Studyaid D.B. の良さを最大限に引き出す内容をお伝えしていきます。
新機能、忘れがちな標準機能、知られざる便利機能……。どんどん覚えて有効活用してください。今回は、新機能「統計機能」についてのご紹介です。

第4回 待望の新機能！ 統計機能のご紹介

ついに 2014 年春発行商品に待望の**統計機能**を搭載しました(※)。ここでは、統計機能の概要についてご案内します。詳しい操作方法是ヘルプ をご覧ください。

※ Ver. 17.5 以降のシステムに搭載しています。2012 年春以降発売の Ver.17 商品を 1 つでもお持ちであれば、アップデート版システムを適用することができます。

最新のアップデート版システムは、弊社ホームページよりダウンロードしてご利用いただけます。

<http://www.chart.co.jp/stdb/sugaku/download/1348.php>



統計機能でできること

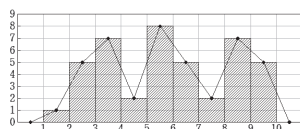
★ データを入力するだけで簡単に表・グラフを作成できます。

選手	身長	体重
1	191	82
2	176	68
3	200	95
4	184	83
5	195	85
6	186	74
7	193	80
8	192	96

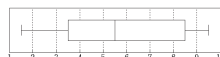
データ表

階級	度数
1 以上 2 未満	1
2 ～ 3	5
3 ～ 4	7
4 ～ 5	2
5 ～ 6	8
6 ～ 7	5
7 ～ 8	2
8 ～ 9	7
9 ～ 10	5
計	42

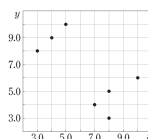
度数分布表



ヒストグラム・度数折れ線



箱ひげ図



散布図

★ 一度作成した表やグラフから他の表・グラフを作成することができます。

★ 入力したデータから平均値などの代表値や分散、標準偏差などを自動で算出し、利用することができます。



統計機能を使ってみよう

では、実際に統計機能を使って、右の
度数分布表を作ってみましょう。

中学数学スタンダード 1 の
章末問題 2 より抜粋です。



下の資料は、生徒 20 人の上体起こしの記録です。

26	20	31	25	23	22	18	34	31	30
27	25	25	23	30	27	26	30	27	26

(単位は回)

16 回以上 20 回未満の階級を 1 つとして、どの階級の幅も 4 回である
度数分布表をつくりなさい。

階級(回)	度数(人)
16 以上 20 未満	1
20 ～ 24	4
24 ～ 28	9
28 ～ 32	5
32 ～ 36	1
計	20

Step 1. 統計機能を開始しよう



内容編集集中に表示される
「文章」タブ内の「統計」
ボタンをクリックして、
統計グラフの描画を開始します。

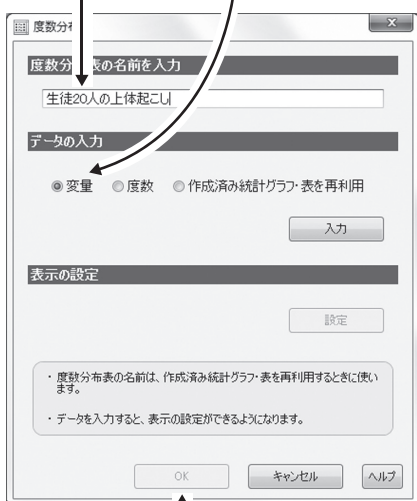


「度数分布表」を選びます。

Step 2. データ入力&表示設定をしよう

① 度数分布表の名前を入力

② 「変数」を選択



③ 「入力」ボタン
クリック

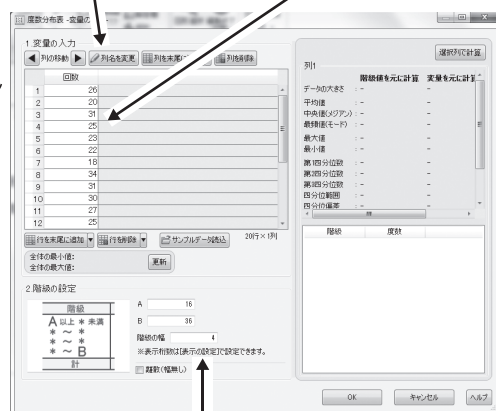
⑦ 「OK」ボタン
クリック

⑧ 「設定」ボタン
クリック

⑩ 「OK」ボタン
クリック

④ 「列名を変更」ボタンで、列名を「回数」
などわかりやすい名前に変更

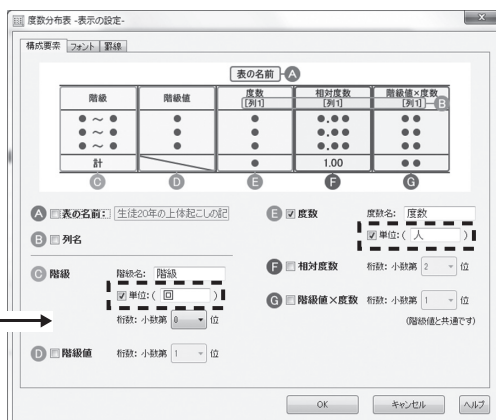
⑤ 問題文のデータを入力



⑥ 問題に合うように階級の値や幅を入力

⑪ 「OK」ボタンをクリックして
できあがり！

⑨ [構成要素] タブにて
・ 階級の単位に「回」と入力
・ 度数の単位に「人」と入力



今回ご紹介できなかった別の方法で度数分布表を作成する手順を、弊社ホームページで
動画にてご案内しています（一度作成した表やグラフから他の表・グラフを作成する）。

<http://www.chart.co.jp/std/toukeimovie.html>

